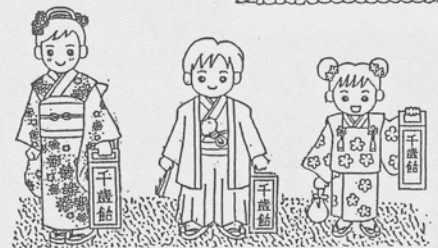


第五いっぴん

第 99 号
20.11.1
発行 編集委員会
事務局 荏原第五地域センター
TEL 3785-2000

11月の年中行事 子どもの成長を祝う七五三

子どもは親にとって宝物であり、その健やかな成長を願う思いは、いつの時代でも変わりません。無事に育ってきたことを感謝し、立派に成人することを祈るお宮まいりは、元々は様々な形があったようです。今は広く庶民の年中行事となつてきて、今月はかわいい「晴れ姿」が街中で見ることが出来ます。



《なぜ7歳・5歳・3歳?》

「7歳までは神のうち」といわれ、昔は子どもの死亡率が70%もあったそうです。そこで、無事に育ってきたことを神に感謝する儀式が行われるようになりました。また、中国の思想では奇数がめでたい数とされ、そこに次のような宮中や武家のしきたりが加わって民間に伝わりました。

『髪置』(かみおき)

それまで髪を剃った坊主頭で過ごしていた男女が、3歳頃から髪を剃る事をやめて、伸ばし始める時の祝儀。

『袴着』(はかまぎ)

男子が5歳で初めて袴をつける儀式。元服に備え、大人と同じ衣装を着けさせて、社会を意識させるため。

『帯解』(おびとき)

女子が7歳で、それまでの紐付きの着物に代わって、本仕立ての着物と丸帯という大人の装いをする。

そして明治以降、東京で「七五三」と呼ばれるようになり広がったようです。

《千歳飴》

元来調味料として使われていた飴が、江戸時代にお菓子として注目され、浅草寺で紅白に染めた棒状の飴が『千年』の名で売られたことから『千歳飴』になりました。

《なぜ11月15日?》

一説には、収穫祭としての霜月祭が11月15日(5代将軍・綱吉) 5歳の時に袴着の儀式を行った日、などの説があります。

下神明天祖神社

毎年神社には、地元の方から「菊」が奉納されます。花の盛りのこの時期、七五三のお参りの記念に、花をバックに一家3世代で記念撮影をする光景が見られます。また、今年には下神明天祖神社の社名制定365年にあたり、9月の祭礼では5年に1度の稚児行列が出ました。その中には七五三の年回りの子どもも多数参加しました。

戸越八幡神社



10月25日(土)より11月末まで七五三の祝を開催します。毎年300人位の子どもがお祓いを受けますが、最近は大人数が多くなり、賑わっているそうです。

無病息災を願い、先の人生に幸多かれとお祓いをしますが、3歳児には我慢の心を、5歳児・7歳児には感謝の心を持つような願いが込められています。写真や着付け等は、神社に来ている業者に直接頼む事が多くなっているそうです。

上神明天祖神社



子どもの信仰の芽生えとなる七五三の行事は、大人の厄年と称されるものが体力の変化する段階を示しているのと同様に、3歳5歳7歳は医学的に見る子どもの発育上の段階です。

3歳は言葉を理解し、5歳で知恵が付き、7歳で歯が生え変わります。その一面いろいろな病気にもかかりやすく、種々な危険

平成20年度東京都地域の底力再生事業助成

みんな集まれ! 歴史と緑のまち「えぼご」(予告)

荏原第五地区で活動している様々な団体が集り、その活動を紹介することにより、交流を深めようというイベントが実施されます。町会活動・青少年の健全育成・集会所利用団体をはじめ、地区内の様々なサークルや団体が一同に集まって、地域を活性化しようというものです。音楽・踊り・書道・絵画・地域ニュースなどの展示や発表、また講演会や模擬店の企画も出されています。皆さんの参加を待っています! 乞うご期待!!

平成21年3月7日(土)・8日(日)

会場は、荏原第五地域センターの「区民集会所」及び「大間窪小学校」他
主催：荏原第五地区連合町会、共催：青少年対策地区委員会他

の伴う大切な時期でもあります。この時期に健全な成長を神様に祈る事は親心の自然から起こったものです。七五三の日、父母とともに神前に手を合わせた思い出こそ子どもに信仰の芽生えを与え、家庭を美しく楽しいものと、子どもを幸福にする根本であります。上神明天祖神社ではどなたでも受付(申し込み)が出来ます。

暮らしに取り戻そう 「無駄のない循環」

高度経済成長期以降、「消費は美德」という風潮が広まり、その一部が環境問題にまでつながる事態となりました。温暖化など地球規模の問題が議論される現在、元来日本人の生活の知恵として、江戸の社会を振り返ってみると、ここでは全てを無駄なく回す循環社会の意識をもって人々は暮らしていました。前号では区が企画した「ごみ・資源追っかけ隊体験記」に参加し資源化される課程をお知らせしました。今回は身近な町会に目を向け、一緒に作業することで人のつながりが増し、資源が有効に利用され、その収入が様々な活動に役立っている地区の様子をまとめました。

町会	回収日	回収物	回収担当	目的等エピソード
豊町1丁目	第四水曜日	新聞・段ボール・古着	婦人部	皆で集めた収入より、敬老会に赤飯を差し上げます。
豊町2丁目	第三水曜日	新聞・雑誌・段ボール・牛乳パック 布類(木綿でウエスとして使用できる布)	婦人部	町会の収入
豊町4丁目	第四水曜日	新聞・雑誌・段ボール (アルミ缶は学校に持参)	杜松小学校 PTA	100周年に向けて始めてから33年。元PTA会長 倉構英治氏のご協力で、PTA役員が同乗し回収。
二葉1丁目	第二・第四 金曜日	新聞・雑誌 段ボール 	資源部	町会の収入
二葉神明	第三日曜日	新聞 段ボール 	衛生部を中心とし た有志	町会の本会計へ入れ、会員に還元している。
二葉2丁目	第三日曜日	新聞 雑誌・段ボール 	成年部	33年前、成年親睦会が手作りで完成した梅神興の 改良・修繕。
二葉中央	第二金曜日 第三土曜日	新聞・雑誌・段ボール	町会役員 二葉中央神興会	町会の収入 神興修繕 
二葉3丁目	第一日曜日 第三水曜日	新聞・雑誌・段ボール	町会役員 未広会	神興修繕

荏原東地区小中一貫校

品川区では、『義務教育9年間を見通したカリキュラムにより、基礎学力の定着や子どもの個性・能力の伸長を図り、生きる力を育成する小中一貫教育を全校で実施し、大崎地区、大井地区のほか八潮、荏原西、品川、荏原東の区内全地区に施設一体型の小中一貫校を開設します。』と事業計画を進めてきました。そして、私たち「荏原東地区」の一貫校は、平成25年4月に開校することになっていきます。

新小中学校は杜松小学校と大間窪小学校、新小中学校は荏原第三中学校と荏原第四中学校が、それぞれ統合して学校を構成する母体となります。校舎等は、大間窪小学校と荏原第三中学校の敷地を利用しますが、隣接する二葉すこやか園や荏原第五地域センターとの一体的利用も合わせて検討されるようです。

具体的な建設工事は平成23年度から2年間かけて実施しますが、現在の四中の校舎を利用してこの年から三中和四中が先駆けて統合し、平成25年4月の一貫校開設に備える予定です。

3年後には中学校が、5年後には小学校を含めて新しい学校が生まれることとなります。何世代かにわたって4校と関わってきた地域の皆さんにとっては、それぞれの思いが詰まった共通の財産が消えることになりませんが、これから新しい歴史の始まりでもあります。それぞれの良き伝統をしっかりとつなぎ合わせてほしいものです。

平成24年春に誕生

平成23年7月、テレビ放送はアナログから地上デジタルに変わります。そして東京タワーに代わり、高さ610mの「東京スカイツリー」が誕生します。
業平橋駅(東武伊勢崎線)前に広がる敷地で、平成20年7月に工事が着工され、来年4月にはタワー基部が姿を現します。

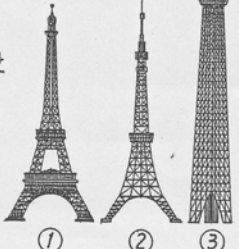
クリスマス☆ウィズ

ハガキに答え・住所・氏名・年令を記入して送ってください
(応募は荏原第五地域内に在住で1家族1名とします)

しめきり 平成20年12月5日(金)
当日消印有効(持参可)

賞品 正解者の中から10名に
当選発表 賞品をお届けできさせていただきます

送り先
〒142-0043
品川区二葉1-3-37
荏原第五地域センター
TEL 3785-2000



① ② ③

(応募は荏原第五地域内に在住で1家族1名とします)

(もんだい) 東京スカイツリーはなんばんでしょう

ひりひり

好奇心を持ち、何でも学べるという気持ちで第五つうしんの一員になって、早三年目を迎え、調和と

共栄共存多くの知識を学び、多くの人との出会いがありました。挫折も味わいました。挫折を知る人こそ人の痛みや苦しみがわかるのではないのでしょうか。(自分で言うのはおこがましいかな?)

編集員、事務局の人達に感謝します。

